

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、注目された米3月小売売上高が前月比0.9%増と市場予想を下回った(前月2月分は小幅上昇修正された)影響により、ドル売りレアル買いが優勢の展開となった。3.12台前半で取引が始まると、引けにかけては終始レアル買いが進行し、3.06台で取引を終えた。マーケットでは、「仮に小売売上高が良好な内容であれば、6月利上げ観測が再浮上する」との見方も一部で見られたが、今回の結果を受けて利上げ見通しは大きく後退したと推測される。なお、ブラジルでは2月小売売上高が公表され、こちらも前月比0.1%減と市場予想を下回った。レアル相場はドル売りの動きが優勢であったためレアルがサポートされる形となったが、ボベスパ株式指数は前日比0.5%安と、ブラジルの経済指標悪化に素直に反応し、4営業日ぶりに反落した。

中銀のTombini総裁は昨日開催された講演において、「規制価格の再調整が及ぼす二次的影響を回避するため、引き続き慎重な(vigilant)姿勢を維持する」と発言した。中銀は先月26日に公表した四半期インフレ報告において、「足許のインフレ率上昇は規制価格の再調整に起因する」との見解を示しており、「レアル安がインフレ率に与える影響は軽微」と判断している可能性が高い。金融政策それ自体に、規制価格の上昇を抑制する効果を期待することはできないため、中銀は価格調整の二次的影響のみを考慮するというスタンスを取っていると予想される。

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月13日	4月14日	前日比	3月13日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	38,46	38,98	+0,52	37,36	+1,62
USD / BRL Spot	BRL	3,1213	3,0633	-0,0580	3,2487	-0,1854
USD / JPY Spot	JPY	120,13	119,40	-0,73	121,40	-2,00
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	54.240	53.982	-258	48.596	+5.386
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	249,5	236,8	-12,7	302,4	-65,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,64	12,49	-0,15	13,40	-0,91
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,26	13,18	-0,08	13,92	-0,74
3 Months US Dollar Libor	%	0,275	0,275	+0,000	0,271	+0,004
CRB Index (国際商品指数)	Index	216,8	219,0	+2,2	210,7	+8,3

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

